

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

| | | |
|------------|---|---|
| 施設名 | 相模湖公園 | 相模湖漕艇場 |
| 所在地 | 相模原市緑区与瀬 | 相模原市緑区与瀬340番地 |
| サイトURL | http://www.sagamiko.info/ | http://kra.or.jp/ |
| 根拠条例 | 神奈川県都市公園条例 | 神奈川県立相模湖漕艇場条例 |
| 設置目的(設置時期) | 公共の福祉の増進 (S33年11月) | ボートの競技等を通じて県民のスポーツの振興を図るため(S38年) |
| 指定管理者名 | 一般社団法人相模湖観光協会・特定非営利活動法人神奈川県ボート協会グループ | |
| 指定期間 | H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年) | |
| 施設所管課 | 都市公園課 | スポーツ課 |

2. 総合的な評価

| 総合的な評価の理由と今後の対応 |
|--|
| ※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。 |
| (一体としてのコメント) 相模湖公園と相模湖漕艇場を一体管理運営することにより、公園で行う地元小学校及び養護学校の生徒との花植えイベントに漕艇場職員が参加したり、相模湖で行われるボート・カヌー競技の際には、公園施設及び駐車場を使用しながら柔軟な大会運営が可能となるなど、一体での管理運営の効果がみられる。 今後も、相模湖公園と相模湖漕艇場の更なる連携を期待する。 |
| ■相模湖公園について 利用状況の評価はC、利用者の満足度はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はBとなった。 利用状況について、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大規模イベントが中止となったことから、利用者数は、前年比の58.6%、目標値に対しては59.8%と大幅に減少し、C評価となった。 なお、上記3項目以外では、苦情、事故が1件も発生しておらず、適切に管理運営が行われていたことは評価できる。 引き続き、利用者の満足度の維持、及び利用者の安全に配慮した管理運営に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後は、イベントの開催などを通じて、地域活性化に寄与する取組を行ってほしい。 |
| ■相模湖漕艇場について 新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の休館による影響等から利用状況がC評価となったものの、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、学生利用日の事前調整や、障がい者等の利便性の向上を図り、ホームページを活用した情報発信や広報を積極的に行うなど、利用者に対するサービスの向上策に努めた結果、利用者の満足度の評価結果がS評価、収支状況の評価結果がS評価となったことから、令和2年度の3項目評価についてはB評価とした。 今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、引き続き、相模湖公園との充実した連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。 |

<各項目の詳細説明>

■相模湖公園について

◆管理運営等の状況
 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大規模イベントを中止せざるを得ない状況であったが、小規模なイベントとして、観光協会、湖畔商店街、漕艇場職員及び公園利用者が協力して花植えを行うなど、感染症対策を実施しながら、適切に管理運営を行った。また、県からの要請に基づき駐車場を閉鎖する際には、予め地元商業関係者と連絡調整を行い、トラブル防止に努めていた。維持管理業務においては、園内清掃を入念に行うほか、地下駐車場の外壁タイルの老朽化が進んでいることから、利用者の安全性の確保、及び美観上の観点から、積極的に修繕工事を実施するなど、良好な実績を上げた。

◆利用状況
 相模湖やまなみ祭、さがみ湖湖上花火大会などの大規模イベントが中止となったことから、利用者数は、前年度比の58.6%、目標値に対しては59.8%に留まり、C評価となった。

◆利用者の満足度
 県が年間7回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が100%であったことから、S評価となった。

◆収支状況
 来園者数は目標数値を大幅に下回ったものの、年度の後半は、密な状況を避けて余暇を楽しむ利用者が見られ、また冬季に比較的穏やかな天候が続き、利用者が多く訪れたため、駐車場収入は当初計画額より361千円減にとどまった。支出については、収入が減となった中でも、経費節減努力により計画よりも経費を減額したため、収支差額が1,508千円となり、収支比率は102.97%と良好な実績をあげて、A評価となった。

◆苦情・要望等
 地下駐車場やトイレ、ベンチなど、園内の清掃を入念に行うなどした結果、苦情は一件も無く、極めて良好な実績を上げている。

◆事故・不祥事等
 作業上の安全に配慮した結果、指定管理業務に関連した事故は1件も発生しなかった。

◆労働環境の確保に係る取組状況
 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでおり、極めて良好な実績を上げた。

◆その他
 令和2年度の3項目評価については、B評価とした。今後も引き続き、利用者の満足度の維持に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後は、相模湖漕艇場と連携したイベントの開催など、地域活性化に資する取組を更に充実させるよう努めてもらいたい。

■相模湖漕艇場について

◆管理運営等の状況
 提案に基づいて指定管理業務を着実に実施し、高校生の年間利用日を事前に把握し、一般や大学生との利用の円滑な調整を行い、各大会に向けた合宿等への全面的な協力や、障がい者やシニア層のボート競技への受入れ体制の充実など幅広い利用者へのサービス向上に努めた。また、維持管理業務については、県有艇の修繕、利用者の保管艇の修繕をはじめ、アンケート要望にあった県有艇の整備を行い、快適なサービスの提供をすることが出来た。そして、日本パラローリング委員会による東京パラリンピック大会に向けての強化合宿が相模湖漕艇場をメインに行われ、合宿に協力した。

◆利用状況
 年々シニア層の利用者が艇を保管し足を運ぶようになってきた。また、県内の高校も私立は土曜日に午前中授業があり、午後から来場しても練習・大会を行えるような環境づくりに努めた。利用者数については、目標値を19,000人として、昨年度に引き続き、幅広いニーズをもつ利用者層へのサービスの向上を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の休館による影響等から、6,157人となり、達成率が32.4%に留まったためC評価となった。

◆利用者の満足度
 10月に実施し、上位2段階の回答割合が96.6%となったためS評価となった。回収率も前回より上回り指定管理者の努力により高い満足度を維持することができた。

◆収支状況
 艇庫における艇の保管台数の増加に伴う収入の増加により、収支比率が106.47%となり、S評価となった。

◆苦情・要望等
 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が多数寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。

◆事故・不祥事等
 職員による施設の日常点検を実施するなど適切な施設運営に努めた。

◆環境の確保に係る取組状況
 労働基準監督署からの指摘事項はない。

◆その他
 令和2年度の3項目評価については新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、利用状況がC評価となったため、B評価とした。今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより充実させた連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実・強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。

| | | | |
|-------|---------------|----------------|--|
| 3項目評価 | | | S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう |
| | <参考> 相模湖公園 | <参考> 相模湖漕艇場 | |
| B | B | B | |

【相模湖公園】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

| | | |
|-----------------------------|--------------|----------------------|
| 月例業務報告 確認 | 遅滞・特記事項があった月 | 特記事項または遅滞があった場合はその理由 |
| | 無 | |
| 現場確認 | 実施日 | 特記すべき事項があった場合はその内容 |
| | 随時 | |
| 随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無 | 有・無 | 指導・改善勧告等の内容 |
| | | |

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|--|--|---|
| 4月に相模湖やまなみ祭のイベントを実施。相模湖やまなみ祭実行委員会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は6,000人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 | |
| 6月下旬から7月上旬に七夕の飾り付けイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は500人 | 6月27日～7月7日で七夕の飾り付けを実施。感染症対策のため、近隣の保育園3園に竹と短冊を事前に渡して飾り付けをしてもらい、その竹を公園内に設置することとした。参加者数は、例年よりも少なく約250人であった。 | 保育園の年間行事として定着していたことから、園内でのイベントはできなかったが、園児が七夕の飾り付けに参加できるよう努めた。 |
| 8月にさがみ湖湖上花火大会のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は50,000人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 | |
| 12月に相模湖公園イルミネーションのイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は3,000人 | 12月1日～12月30日で相模湖公園イルミネーションを実施。例年であれば湖畔商店街とともにイベントを開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、飾り付けのみとなった。参加者は約750人。 | 近隣に人気のある民間施設があることに加え、例年より点灯時間が短かったことから、計画参加人数には及ばなかった。 |

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 |
|-----------|-------|
| | |

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

| | |
|----|---|
| 評価 | <<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。 |
| C | |

| | 前々年度 | 前年度 | 令和2年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者数※ | 174,789 | 163,342 | 95,742 |
| 対前年度比 | | 93.5% | 58.6% |
| 目標値 | 160,000 | 160,000 | 160,000 |
| 目標達成率 | 109.2% | 102.1% | 59.8% |

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

緊急事態宣言発出に伴う県からの要請に基づき、4月25日から5月31日まで駐車場を閉鎖したこと、また、感染拡大防止に伴う措置として、さくら祭り、相模湖やまなみ祭などのイベントを中止したことなどから、4・5月の利用者数が、前年度の約4分の1と大幅に減少した。

②令和2年度の対応状況

マスク着用、手指アルコール消毒、体温測定などの徹底を図り、緊急事態宣言解除後は、地元保育園などが参加する七夕の飾り付けや、地元小学校及び養護学校が行う花植えなど、実施可能な小規模なイベントを行い、利用促進に努めた。

6. 利用者の満足度

| | |
|----|--|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う |
| S | |

| | 協定に定めた調査内容 | 実施結果と分析 |
|------------|----------------------------------|--|
| 満足度調査の実施内容 | 指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施 | 本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様、満足度は高かった。 |

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 107 / 107 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらでもない | どちらかといえば不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答があった場合はその理由 |
|------------------|--------|------------|---------|------------|------|-----|---------------------|
| サービス内容の総合的評価の回答数 | 94 | 13 | 0 | 0 | 0 | 107 | |
| 回答率 | 87.9% | 12.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 前年度の回答数 | 47 | 42 | 8 | 4 | 0 | 101 | |
| 前年度回答率 | 46.5% | 41.6% | 7.9% | 4.0% | | | |
| 回答率の対前年度比 | 188.8% | 29.2% | 0.0% | 0.0% | | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

| |
|---|
| 【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載) |
| ①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 ー |
| ②令和2年度の対応状況 ー |

7. 収支状況

| | |
|----|--|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満 |
| A | |

[指定管理業務]

(単位：千円)

| | | 収入の状況 | | | | | 支出の状況 | 収支の状況 | |
|-------|------|--------|------|--------|----------------|--------|--------|-------|---------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | その他収入 の主な内訳 | 収入合計 | 支出 | 収支差額 | 収支比率 |
| 前々年度 | 当初予算 | 37,200 | 0 | 12,600 | 駐車場 12,600 | 49,800 | 49,800 | 0 | |
| | 決算 | 37,200 | 0 | 12,048 | 駐車場 12,048 | 49,248 | 49,246 | 2 | 100.00% |
| 前年度 | 当初予算 | 37,787 | 0 | 12,798 | 駐車場 12,798 | 50,585 | 50,585 | 0 | |
| | 決算 | 37,787 | 0 | 10,337 | 駐車場 10,337 | 48,124 | 48,096 | 28 | 100.06% |
| 令和2年度 | 当初予算 | 39,068 | 0 | 12,700 | 駐車場 12,700 | 51,768 | 51,768 | 0 | |
| | 決算 | 39,956 | 0 | 12,339 | 駐車場 12,339 | 52,295 | 50,787 | 1,508 | 102.97% |

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により令和2年度の指定管理料を増額した。

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

②令和2年度の対応状況

—

8. 苦情・要望等 該当なし

| 分野 | 報告件数 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------|----|------|
| 施設・設備 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 職員対応 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 事業内容 | 件 | | |
| | 件 | | |
| その他 | 件 | | |
| | 件 | | |

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

| | |
|-----|---|
| 発生日 | ①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入） |
| | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ |

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

| 確認項目 | 指摘事項の有無 | 備考 |
|-----------|---------|----|
| 法令に基づく手続き | 無 | |
| 職員の配置体制 | 無 | |
| 労働時間 | 無 | |
| 職場環境 | 無 | |

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【相模湖漕艇場】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

| | | |
|-----------------------------|------------------------|----------------------|
| 月例業務報告 確認 | 遅滞・特記事項があった月 | 特記事項または遅滞があった場合はその理由 |
| | 該当なし | |
| 現場確認 | 実施日 | 特記すべき事項があった場合はその内容 |
| | 令和2年6月16日 令和3年1月20日 | |
| 随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無 | 有・ 無 | 指導・改善勧告等の内容 |
| | | |

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|----------------|---|--------------|
| 開場時間の拡大の実施について | 開場時間の拡大も利用者には定着しつつあり、周辺の湖面での利用者(遊船・魚族対策業者)との調整がしやすく、大変使用しやすいとの意見があった。 | |
| スポーツ・地域振興への対応 | 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内中学生によるボート教室(3回:115人)、県高等学校新人ボート大会(93人)の開催に留まった。また、例年開催に協力している公園内のイベント全部が中止となった。 | |
| 施設・設備の維持管理 | 経年劣化している箇所がほとんどだが、職員が修繕できる箇所(トレーニング室腰壁修繕等)は随時行った。また、地下通路・更衣室・トイレ等塗装工事の調整や、2,000mコース等の維持管理に務めた。 | |
| 安全対策について | 相模湖公園と合同で「危機管理マニュアル」を作成した。利用者には、必ずトランシーバーを携帯させている。また、「カタマラン使用時の救助マニュアル」を作成して、利用者の安全対策を図っている。 | |
| その他 | 相模湖公園との一体化により、協力体制も取れて、湖岸・スロープの清掃作業等、イベント等で職員同士の連携が出来ている。また、利用者や観光客に対する心配りが図られている。 | |

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

〔 参考：自主事業 〕

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 |
|--|--|
| 県民を対象とするボート教室の開催(ボート競技への理解及びスポーツの振興と普及を目的とする。) | 年3回開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。 |

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。 |
| C | |

| | 前々年度 | 前年度 | 令和2年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 利用者数※ | 16,706 | 18,547 | 6,157 |
| 対前年度比 | | 111.0% | 33.2% |
| 目標値 | 19,000 | 19,000 | 19,000 |
| 目標達成率 | 87.9% | 97.6% | 32.4% |

目標値の設定根拠： ボート競技人口の増減や隔年毎の大会開催の有無を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書及び艇庫利用者

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

| |
|--|
| 【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載) |
| ①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、利用者数は前年度から12,390人の減少となった。 また、ボート教室（自主事業）の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、中止となった。 |
| ②令和2年度の対応状況 ～令和2年6月30日 臨時休場 令和2年7月1日 利用再開（一部施設利用制限あり、消毒等の感染症対策を講じたうえで再開） 令和3年1月12日～ 臨時休場 |

6. 利用者の満足度

| | |
|----|--|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う |
| S | |

| | 協定に定めた調査内容 | 実施結果と分析 |
|------------|---|---|
| 満足度調査の実施内容 | 年2回を7月・10月に調査 （ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、10月1回の実施となった。） | 概ね「満足」又は「どちらかといえば満足」という結果であったが、施設・設備の状態については、施設の老朽化に伴い、「どちらかといえば不満」とする声が多かった。 |

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について、該当する箇所に○を付けてください。（総合評価）

実施した調査の配布方法 利用者へ直接配布 回収数/配布数 90 / 90 = 100.0%

配布(サンプル)対象

| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらか といえば 不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答があった場合はその理由 |
|------------------|--------|--------------------|--------------------|------|-----|---------------------|
| サービス内容の総合的評価の回答数 | 58 | 29 | 3 | 0 | 90 | |
| 回答率 | 64.4% | 32.2% | 3.3% | 0.0% | | |
| 前年度の回答数 | 134 | 72 | 5 | 2 | 213 | |
| 前年度回答率 | 62.9% | 33.8% | 2.3% | 0.9% | | |
| 回答率の対前年度比 | 102.4% | 95.3% | 142.0% | 0.0% | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

| |
|---|
| 【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載) |
| ①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 — |
| ②令和2年度の対応状況 — |

7. 収支状況

| | |
|----|--|
| 評価 | 《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満 |
| S | |

[指定管理業務]

(単位:千円)

| | | 収入の状況 | | | | | 支出の状況 | 収支の状況 | |
|-------|------|--------|-------|-------|------------|--------|--------|-------|---------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | その他収入の主な内訳 | 収入合計 | 支出 | 収支差額 | 収支比率 |
| 前々年度 | 当初予算 | 14,086 | 1,914 | 0 | 0 | 16,000 | 16,000 | 0 | |
| | 決算 | 14,086 | 3,072 | 0 | 0 | 17,158 | 15,777 | 1,381 | 108.75% |
| 前年度 | 当初予算 | 16,791 | 2,091 | 0 | 0 | 18,882 | 18,882 | 0 | |
| | 決算 | 16,791 | 3,648 | 0 | 0 | 20,439 | 18,687 | 1,752 | 109.38% |
| 令和2年度 | 当初予算 | 18,982 | 1,365 | 0 | 0 | 20,347 | 20,347 | 0 | |
| | 決算 | 19,305 | 2,363 | 0 | 0 | 21,668 | 20,351 | 1,317 | 106.47% |

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

令和2年度9月補正(感染症対策費) : 1,143千円

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

②令和2年度の対応状況

—

8. 苦情・要望等 該当なし

| 分野 | 報告件数 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------|----|------|
| 施設・設備 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 職員対応 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 事業内容 | 件 | | |
| | 件 | | |
| その他 | 件 | | |
| | 件 | | |

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

| | |
|-----|---|
| 発生日 | ①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入） |
| | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ |

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

| 確認項目 | 指摘事項の有無 | 備考 |
|-----------|---------|----|
| 法令に基づく手続き | 無 | |
| 職員の配置体制 | 無 | |
| 労働時間 | 無 | |
| 職場環境 | 無 | |

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。